

## 力作がずらり

### 町老人クラブ連合会

町老人クラブ連合会主催の「老人余技作品展」が、5月22日から24日までの3日間、福社会館で開催されました。

会場には、伊勢型紙・流木・日本画・写真・盆栽・手芸・陶芸など、老人クラブの会員121点の力作が展示され、訪れた多くの皆さんの目を楽しませていました。



会員の作品を鑑賞する皆さん

## 保育園児が鮎の放流

### かさまつまちづくりイベント実行委員会

6月12日笠松みなと公園で、松枝保育所と下羽栗保育所の年長園児68人が、鮎の放流を行いました。

町内の貴重な観光資源である木曾川の環境良化や子どもたちに自然の大切さを知ってもらうきっかけ作りを目的に、「かさまつまちづくりイベント実行委員会」が「木曾川長良川下流漁業協同組合」の協力のもと、毎年鮎の放流をしています。

園児たちはバケツに入れた鮎に「大きくなあれ」と声をかけながら木曾川へ放流した後、鮎の一生の話を聞きました。



鮎を放流する園児たち

## 百歳おめでとございます

### 森まどろさん

6月2日に満100歳を迎えられた森まどろさん(米野)を広江町長が訪ね、長年にわたり地域の発展に寄与されてきたことを感謝するとともに長寿をお祝いし、長寿者褒賞金を贈呈しました。

町長から「おめでとうございます。いつまでもお元気で」と祝状を手渡されると、丁寧にお辞儀され、「ありがとうございます」と笑顔でお礼を述べられました。



森まどろさん(右から2人目)

## 小学校児童がヤゴの放流

### 下羽栗小学校

6月11日、下羽栗小学校6年生児童66人が、プール掃除で採ったヤゴをトンボ池に放流しました。

この活動は、町の貴重な自然の財産であるトンボ池を、自分たちの手で守っていこうという意識を高めていくために、下羽栗小学校とトンボ池を守る会などが協力して行われました。

児童たちは、透明なコップに入ったヤゴに「元気なトンボになってね」と声をかけながら、トンボ池に放流しました。



トンボ池にヤゴを放流する児童たち